

令和 4 年度
事業報告書

目 次

- 1 事業総括.....
- 2 障害者支援施設オイコニア.....
- 3 グループホーム笑和.....
- 4 相談支援事業所わらわ.....
- 5 デイサービスセンター緑林荘.....
- 6 デイサービスセンターさくら貝.....
- 7 居宅介護支援事業所りょくりん.....
- 8 職員研修.....
- 9 配食サービス事業.....
- 10 宿舎運営事業.....

令和4年度 事業総括

新型コロナウイルスの感染が始まり約3年が経過し、この間ウイルスの変異や流行状況が変化
する中、高知県の感染症対応ステージに沿って施設の対応レベルを見直し、各事業所の感染防止
対策を実施してきました。特に8月以降は職員・職員の家族の感染が見られるようになり、出勤
できないケースが徐々に増えてきましたが、勤務変更など調整を図り、事業に支障をきたすこと
なく何とか事業運営を継続してきました。オイコニアでは、クラスターを防ぐことができました
が、緑林荘ではクラスターにより8月に6日間、さくら貝では1月に4日間の営業を停止する
ことになりました。その後の一時的な利用控えもあったことから、緑林荘においては介護保険収入
が約5%の減額につながりました。

年度末には新型コロナの法的位置付けが「2類」から「5類」への移行が決まり、ご利用者・
職員とも制限ある日常生活の緩和が見えてきました。

4月以降、物価高騰により光熱水費（電気）や燃料費（ガソリン）、食料品費等の価格が値上
がりすることとなり、法人全体では高知県・四万十町より合計140万円の補助金の交付を受けま
した。オイコニアでは、給食費は3%、電気代は10%、ガソリン代は28%と伸び率が高く、
全体的な仕入れ価格や修繕費等も値上げ傾向が続き、購入業者の選択や節電対策に努めてきま
した。

社会福祉充実残額については約4700百万円算出されましたが、社会福祉充実計画につい
ては、10年度の建替えのための資金として計画することにしました。

今年度は、主に以下の項目に取り組みました。

◇「人材確保・育成・定着」として、地元の高知県の新卒者1名を含む生活支援員の正職員6
名と契約職員2名（障害者雇用1名を含む）を採用することができましたが、管理栄養士と作業
療法士を含む正職員7名、契約職員1名が退職することになり慢性的な生活支援員の人材不足が
続き、オイコニアでは看護師が3名体制から2名体制を強いられ、管理栄養士は管理者が兼務す
る状況が続きました。退職者（正職）には、勤続5年以上の中堅職員を含む職員が4名、平均勤
続年数は約7.4年であり、また、オイコニアでは男性生活支援員の割合が上昇傾向となり業務
の見直しと働きやすい職場づくりに取り組んできました。

◇来年度、法人設立30周年を期に明成会の中長期計画を見直すため、9月から策定委員会を設
置し、毎月1回、新たな中長期計画（令和5年～9年度）の策定づくりに取り組んできました。委
員会メンバーには各事業所の代表者と次世代を担う職員で構成し、SDGsについての勉強会や
現状の課題について意見交換を行い、これからの取り組み・行動指針について話し合い、8月の完
成予定となりました。

◇オイコニアでは、築28年となりサービスステーション内の環境改善のため、静養室と医務室
の一体的な改修工事や設備の修繕、脱衣場の棚の増設など行いました。また、公益財団法人JK
Aの補助金による特殊浴槽の入替えについては、旧特殊浴槽が11月に故障のため使用できな
くなりましたが、発注先の代替機による補償もあり、納入期限が当初計画より遅延しましたが3月
に入替えが完了しました。

◇「業務改善等による生産性の向上」として、オイコニアでは今年度も高知県介護福祉機器導入支援事業費補助金を活用し、職員の身体的・精神的業務の負担の軽減を図るための眠りスキャンを20台追加設置することができました。また、緑林荘でも一般浴槽に昇降用リフトの設置を行い、不安なく安全に入浴支援が行えるようになるとともに職員の腰痛予防対策につながりました。

グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ、居宅介護支援事業所りょくりんでは、システムのクラウド化を行い、効率的なパソコン入力、運用管理面や情報共有等メリットが多く、これから、更に業務改善につながる事が予想されています。

◇地域における公益的な取組を推進するため、地域の代表者が参加する推進会議で協議した上で明成会地域サポート隊活動として、六反地駅・施設周辺の草刈り、近隣の宅老所と連携した出前講座を積極的に行ってきました。また、年度末には、活動報告を行うとともに次年度の活動計画について検討を行いました。これからも地域福祉の増進と実践に向け、地域から必要とされる活動を定期的に継続していくため、ICT等の活用による効率化と業務改善に積極的に取り組み、公益的な取組の充実を図っていきます。

以上を令和4年度の総括とします。

(1) 理事会・評議員会の開催

【 理 事 会 】

第1回 理事会 《令和4年5月19日（木）午前9時30分～午前9時55分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席 / 議長：瀧澤勝英理事＞

(1) 承認及び議決事項

第1号議案 JKA補助事業交付決定の受託と補助事業の実施について

【提案理由】

2022年度自転車等機械振興事業に関する補助金交付を受託し、補助事業を実施することについての審議（補助金交付誓約書の提出）

第2号議案 令和4年度第1次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

第2回 理事会 《令和4年5月26日（木）午後1時55分～午後2時55分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席 / 議長：八木雅昭理事＞

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和3年度事業報告書の承認について

【提案理由】 定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和3年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. グループホーム笑和
4. 相談支援事業所わらわ
5. デイサービスセンター緑林荘
6. デイサービスセンターさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りょくりん
8. 配食サービス事業
9. 収益事業（宿舍運営事業）

第2号議案 令和3年度決算関係書類の承認について

【提案理由】 定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和3年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録

2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 社会福祉充実計画について

【提案理由】

経理規程第78条及び第79条の規定により社会福祉充実残額が有るため、社会福祉充実計画を作成し、評議員会の承認に向けた審議

第4号議案 「給与規程」の一部改正にともなう審議

【提案理由】

役職手当の見直しにともなう改正（再提案）

第5号議案 定時評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第3回 理事会 《令和4年9月2日（金）午後1時55分～午後3時20分》

＜理事：8名出席、監事：2名出席、顧問：欠席 / 議長：西村知絵理事＞

(1) 報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②特殊浴槽の入札結果及び売買契約の締結
- ③高知県による運営指導の結果報告（デイサービスセンター緑林荘）

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和4年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔職員宿舍運営事業拠点区分〕

第2号議案 諸規程の改正にともなう審議

- 「給与規程」、「嘱託職員就業規則」、「契約職員就業規則」

【提案理由】

福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算及び介護職員等ベースアップ等支援加算に基づき特例手当を支給するための一部改正

第4回 理事会 《令和4年12月23日（金）午前10時00分～午前11時40分》

＜理事：7名出席、監事：1名出席、顧問：欠席 / 議長：吉岡美保子理事＞

(1) 報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②上半期の事業報告
- ③高知県による法人に係る指導監査の結果報告
- ④須崎労働基準監督署による立入調査の結果報告

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和4年度第3次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

[オイコニア拠点区分]

[緑林荘拠点区分]

[さくら貝拠点区分]

[笑和拠点区分]

第2号議案 諸規程の改正にともなう審議

○「給与規程」施行

【提案理由】

日割り計算式、超過勤務手当の計算式、勤続功労金の見直しにともなう規定の一部改正

○「情報公開規程」

【提案理由】

情報の公開及び文書の開示方法等についての規程を施行

第3号議案 第2回評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、第2回定時評議員会の日程等について審議

その他 宿舎運営事業について

【提案理由】

今後の宿舎運営の方向性について検討する

第5回 理事会 《令和5年3月23日（木）午後2時00分～午前4時10分》

＜理事：7名出席、監事：2名出席、顧問：欠席 / 議長：大崎和正理事＞

(1) 報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など
- ②補助事業（特殊浴槽）完了報告及び評価

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和4年度第4次補正収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

〔職員宿舎運営事業拠点区分〕

第2号議案 令和5年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和5年度事業計画書の審議

第3号議案 令和5年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和5年度収支予算書の審議

第4号議案 諸規程の改正にともなう審議

- 「デイサービスセンター緑林荘 運営規程」

【提案理由】

利用定員及び食事費用の見直しにともなう一部改正

- 「デイサービスセンターさくら貝 運営規程」

【提案理由】

食事費用の見直しにともなう一部改正

第5号議案 役員等賠償責任保険の加入及び内容の審議

【提案理由】

社会福祉法関連規程の改正による役員等賠償責任保険に加入にともなう審議

その他 収益事業（職員宿舎運営事業）について

【提案理由】

- 売買交渉についての検討

【 評 議 員 会 】

定時評議員会 ≪令和4年6月16日（木）午前10時00分～午前11時55分≫

評議員：8名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：井上義之評議員

議事録署名人：山本哲資評議員、田井智子評議員

（1）報告事項

- 1 令和3年度 第3次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 令和3年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 令和4年度 事業計画書（定款第32条第2項の規定による）
- 4 令和4年度 収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 5 令和4年度 第1次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和3年度 決算関係書類の承認について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

<令和3年度 決算関係書類>

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 社会福祉充実計画の承認について

【提案理由】

定款第10条第1項第8号の規定にもとづく審議

第2回評議員会 ≪令和4年12月27日（火）午前10時00分～午前11時10分≫

評議員：9名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：中嶋敏親評議員

議事録署名人：長谷部恵美評議員、戸田悦子評議員

報告事項

- 1 令和4年度 上半期事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 2 令和4年度 第2次・第3次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 3 令和4年度 予算執行状況（定款第33条第2項の規定による）

(2) 役職員の研修等に関する事業

〔障害者支援施設オイコニア〕

- | | |
|----------|---|
| 5月11日(水) | 中・四国身体障害者施設協議会 施設長会 (オンライン/岡村) |
| 16日(月) | 高知県経営協総会及び研修会 (高知市/岡村・矢野・大崎) |
| 7月6日(水) | 高知県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修 (高知市/大崎) |
| 20日(水) | 高知県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修 (高知市/豊田) |
| | 安全運転管理者講習 (四万十町/岡村) |
| 23日(土) | ふくし就職フェア (高知市/岡村・矢野) |
| 8月2日(火) | 高知県経営協セミナー (前期) (高知市/岡村・矢野) |
| 18日(水) | 高知県経営青年会セミナー (第1回) (高知市/矢野) |
| 30日(火) | 高知県障害者虐待防止・権利擁護研修 (オンライン/岡村) |
| 9月8日(木) | 全国身体障害者施設協議会 研究大会 (福岡市/豊田・土居・中野) 9日まで |
| 24日(土) | 高知県福祉介護若手職員研修及び交流会 (高知市/真殿) |
| 10月5日(水) | 国際福祉機器展 2022 (東京都/矢野・中平) 7日まで |
| 14日(金) | 中・四国身体障害者施設協議会 支援職員研修会 (オンライン/中山・真殿) |
| 11月2日(水) | I C T機器等導入支援セミナー (高知市/岡村・矢野) |
| 10日(木) | 介護福祉士実習指導者講習会 (高知市/土居) 4日間
中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー
(高知市/岡村・大崎・武政・矢野) 11日まで |
| 15日(火) | 高知県老協 事務職員研修会 (四万十町/矢野・吉岡) |
| 24日(木) | 中・四国身体障害者施設職員研修大会 (オンライン/中城・有澤) |
| 12月5日(月) | 社会福祉法人経営青年会セミナー (安芸市/矢野) |
| 1月10日(火) | 高知県経営協セミナー (後期) (高知市/岡村・矢野) |
| 29日(日) | 高知家ノーリフティングフォーラム (高知市/武政) |
| 2月9日(木) | 社会福祉施設総合保険制度説明会 (高知市/吉岡) |
| 22日(水) | 高知県福祉・介護若手職員研修 (オンライン/西村・前田) |
| 28日(火) | 高知県障害者虐待防止・権利擁護研修 (オンライン/山田) |

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 7月13日(水) | 高知県災害派遣福祉チーム スキルアップ研修 (高知市/嶋) |
| 8月22日(月) | 依存症相談支援研修会 (高知市/中平・嶋) |
| 10月5日(水) | 国際福祉機器展 2022 (東京都/中平) 7日まで |
| 12日(水) | 管内ひきこもり支援に関する勉強会 (須崎市/中平・嶋) |
| 11月17日(木) | 高知県強度行動障害支援者養成研修 (オンライン/中平) 2日間 |
| 2月2日(木) | 高知県強度行動障害支援者養成研修 (オンライン/中平) 3日まで |
| 15日(水) | 高知県サービス管理責任者等更新研修 (オンライン/中平) |
| 3月11日(土) | 高知県地域移行・地域定着支援関係者研修 (オンライン/中平) |

〔デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん〕

- 5月15日(日) 介護支援専門員研修(研修過程Ⅱ)合計4日間(高知市/北川)
24日(火) 介護予防支援従事者研修会(オンライン/岩崎)
7月12日(火) 安全運転管理者講習(四万十町/西村)
10月17日(月) 介護支援専門員の確保に向けた検討会(四万十町/北川)
11月14日(月) 高幡5市町村在宅医療・介護連携合同研修会(四万十町/岩崎・北川)
12月22日(木) 認証評価制度・育成スキルアップ研修(高知市/泥谷)
2月9日(木) 社会福祉施設総合保険制度説明会(高知市/西村)

〔デイサービスセンターさくら貝〕

- 7月4日(月) 高知県相談支援従事者初任者研修(オンライン/津野)全8日間
13日(水) 甲種防火管理新規講習(中土佐町/津野)14日まで

(3) 施設・設備整備等の事業

今年度の施設・設備整備事業は、次のとおりです。

<注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載>

[オイコニア]

[備品]

・SS内パソコン（2台入替）	428,120円	<四国電話工業(株)>
・たん吸引機（2台）	334,400円	<(有)オフィスウエハラ>
・サーマルカメラ	173,800円	<陽和産業(株)>
・特殊浴槽（一式）	9,977,000円	<(有)オフィスウエハラ>
・コピー機（5年リース契約）	1,890,460円	<キャノンシステムアンドサポート(株)>
・キャノンミラーレスカメラ	130,900円	<陽和産業(株)>
・殺菌庫	294,800円	<(株)フジマック>
・コールドテーブル	268,400円	<(株)フジマック>
・恒温高湿庫（4枚扉）	699,600円	<ホンザキ四国(株)>
・眠りスキャン（20台）	2,098,800円	<ワタキューセイモア(株)>

[修繕他]

・給食業務委託契約（更新）	2,420,000円	<(有)モリグリーンフーズ>
・ボイラー保守点検契約	104,500円	<(株)巴商会>
・脱衣場の棚改修工事	530,000円	<黒岩建具店>
・医務室・静養室等改修工事	2,110,000円	<小松建設(株)>
・ホームページの作成（更新）	495,000円	<(株)ファクトデザイン事務所>
・トイレフラッシュ弁取替	255,200円	<三栄工業(株)>
・新聞折込（85,820部）	185,390円	<(株)グラフィック>
〃	302,086円	<(株)高新販売オリコミ社>
・防火設備の定期報告書作成	181,500円	<小松建設(株)>
・給水タンク清掃・消毒	132,000円	<三栄工業(株)>
・線路側通路コンクリート敷設工事	460,000円	<小松建設(株)>
・高圧電気設備の一部取替	803,000円	<(財)四国電気保安協会>

[笑 和]

[修繕他]

・植栽管理費	110,000円	<(株)南国緑地建設>
--------	----------	-------------

[ソフトウェア]

・クラウド化	357,866円	<陽和産業(株)>
--------	----------	-----------

[わ ら わ]

[備品]

・パソコン（1台入替）	162,360円	<陽和産業(株)>
-------------	----------	-----------

[ソフトウェア]

・ソフト使用権更新（クラウド化）	772,934円	<陽和産業(株)>
------------------	----------	-----------

〔 緑 林 荘 〕

〔備品〕

・送迎車輛（軽新車）	1,805,160 円	<(有)中央自動車>
・送迎車輛（中古車）	400,000 円	<(有)中央自動車>
・テレビ（65 型）	231,600 円	<(有)駅前電化センター>
・マッサージチェア（2 台）	256,000 円	<(有)駅前電化センター>

〔修繕他〕

・玄関前カーポート修理費	220,000 円	<高知トヨー住器(株)>
・ボイラー保守点検契約	123,200 円	<(株)巴商会>
・ボイラー室配管漏水修理	107,800 円	<(株)日化住宅機器>
・ボイラー室配管漏水修理	206,800 円	<(株)日化住宅機器>
・ボイラー室給湯ラインポンプ取替	165,000 円	<(株)日化住宅機器>

〔 りょくりん 〕

〔ソフトウェア〕

・ソフト使用権更新（クラウド化）	1,492,700 円	<陽和産業（株）>
------------------	-------------	-----------

〔 さくら貝 〕

〔修繕他〕

・エコキュート内臓ポンプ取替修繕	110,000 円	<三菱電機ビルソリューションズ(株)>
------------------	-----------	---------------------

〔 職 員 宿 舎 〕

〔修繕他〕

・エアコン（交換）	165,000 円	<井上住電設備>
・床張替・流し台交換	730,000 円	<小松建設(株)>

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい自立した生活を送ってもらうために、良質かつ安心、安全なサービスの提供に努めた。また、ご利用者一人ひとりの能力や嗜好に合った生活空間が持てるよう配慮した。個別支援計画については、ご利用者の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、本人の望む自立した生活が実現できるよう計画作成に努めた。

日中活動事業である生活介護サービスについては、各ライフサポート委員会でサービス内容の見直し、改善をはかり、ご利用者の生活の充実にむけた活動を実施している。日中活動支援プログラムではJR四国の「観光列車」へのおもてなし活動も習慣化され、ご利用者手作りの装飾や仮装等で旗振りを行っている。列車から笑顔で手を振り返してくれる乗客の姿を通して、おもてなす事の喜びや自身の役割を実感し、ご利用者にもはつらつとした笑顔が見られている。また、外部出店による喫茶店が閉店となったことから月に2回ほど「お菓子の日」を企画し町内の菓子店のスイーツ等を楽しんだ。次回に向けてのリクエストもあり、ご利用者には喜ばれる日中活動となっている。創作活動においては季節折々にあった壁画や装飾作りをご利用者とともに創意工夫し作成している。年々、作品のクオリティーが上がっており次回作を楽しみにしているご利用者も多くみられた。

居住支援事業の施設入所支援については業務見直し、ノーリフト、安全対策委員を中心に課題改善を図りながら、標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。1月には県が取り組んでいるノーリフティングケア優良事業所にも選出されることとなった。今後も支援の安全性と効率化及び職員の身体的・精神的な業務負担の軽減となるノーリフティングケアのさらなる向上にむけて取り組んでいきたい。また眠りスキャン20台を整備し業務の効率化の強化も図った。

入所の利用状況については、今年度は開設以来一番多くの入れ替わりのある年度となった。6名のご利用者の退所があり現在49名である。入退院を繰り返されていた方々が、入院先で亡くなられるケースが多かった。入院日数も今年度は多く646日となる。体調不良時に施設での対応が難しく施設生活の限界がある方もいるが、ご家族が施設での生活を強く望まれており今後も入退院を繰り返えしながら過ごすご利用者もいる。他にも終末期ケアとなっている方や基礎疾患の重症化、精神的不安定、肺炎リスクを常に抱えているご利用者も数名いることから状態観察・早期受診の対応を徹底し施設生活を継続できるよう努めていく。

短期入所については入所希望がある新規の方の利用もあり平均81%の稼働率で順調であった。新規利用の問い合わせも続いている。また医的ケアのあるご利用希望も継続的にあり、来年度は介護職の喀痰吸引有資格者を整備し事業の安定に努めたい。通所においては新規ご利用者2名確保できたことにより、昨年度より少し利用率が上がり37%となった。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、職員のマスク着用、出勤前の検温等の実施、面会等施設内立ち入り制限や、施設の行事や外出支援の中止等を実施したが県の感染対応レベルの緩和に合わせ面会制限など感染対策を実施しながら短時間で直接面会できるように変更も行っ

た。久しぶりに顔を合わせ話せることでご利用者、ご家族とも安心した笑顔を見ることができた。感染者としては職員で家族感染が数名みられたもののご利用者においては感染者を出すことがなかった。この感染対策による制限ある生活の中でご利用者の QOL は低下していると感じており、来年度は充実した笑顔あふれる生活を取り戻していける支援を実施していきたい。

1. 日常生活支援

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めるとともに安全・安心した生活が送れる活動を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

1-①相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

1-②個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

1-③ライフサポート委員会

ご利用者のより安心・安全で快適な生活が送れるようライフサポート委員会が定期的な会議を開催し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。また、各委員会のリーダーが集まり情報交換を行うことで、委員会同士の連携を図った。

1-④懇親会

ご利用者がより安心して快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望が時々提案された。その内容へも丁寧な対応に努めた。

1-⑤苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症に対して第三者委員の方も考慮し訪問はなかった。ただし、ご利用者から訴えがあれば第三者委員へも報告できるように体制は維持している。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

令和5年3月31日現在

	南国市	高知市	四万十市	宿毛市	仁淀川町	津野町	佐川町	日高村	越知町	梶原町	中土佐町	四万十町	黒潮町	大月町	合計
男性	1	—	2	1	1	3	1	—	1	1	3	12	2	2	30
女性	—	3	1	—	—	—	1	1	—	1	—	11	1	—	19
計	1	3	3	1	1	3	2	1	1	2	3	23	3	2	49

2. 障害別一覧表

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	7	3	10
筋ジストロフィー	1	1	2
脊髄損傷	7	—	7
脳疾患による後遺症	6	7	13
頭部外傷後遺症	3	—	3
痙性麻痺	—	2	2
水頭症	1	—	1
パーキンソン病	1	—	1
ダウン症	—	1	1
知的障害	2	1	3
自閉症	1	1	2
その他	1	3	4
合計	30	19	49

3. 障害・療育手帳別一覧表

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	20	12	32
第1種2級	2	2	4
第1種3級	1	—	1
第2種2級	1	—	1
第2種3級	1	—	1
療育A1	3	—	3

療育A2	—	2	2
精神2級	1	1	2
手帳なし	1	2	3
合計	30	19	49

4. 年齢別一覧表

年齢	男性	女性	合計
18歳～29歳	1	1	1
30歳～39歳	3	2	5
40歳～49歳	4	1	5
50歳～59歳	7	4	11
60歳～69歳	5	5	10
70歳～79歳	9	4	13
80歳 以上	1	2	3
合計	30	19	49

5. 平均年齢

令和5年3月31日現在

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	19歳5ヶ月	82歳0ヶ月	58歳7ヶ月	59歳7か月
女性	25歳2ヶ月	92歳9ヶ月	61歳1ヵ月	

6. 食費等徴収額

令和5年3月31日現在

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	6	13	47,760	2
2	9,870	1	14	47,850	2
3	23,040	1	15	47,880	1
4	38,640	1	16	48,510	7
5	39,210	1	17	49,980	1
6	39,300	1	18	50,280	1
7	39,870	4	19	51,180	1
8	42,390	1	20	51,330	1
9	42,840	1	21	51,960	1
10	45,420	4	22	53,190	1
11	45,450	1	23	53,310	8
12	47,670	1	合計		50

7. 上限月額徴収額

令和5年3月31日現在

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	48
2	9,300	1
合 計		49

8. 障害程度区分

令和5年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	—	0	0
4	4	2	6
5	9	3	12
6	17	14	31
合 計	30	19	49

平均障害程度区分 5.5

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
退 所	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—
在籍者数	32	18	32	18	32	18	32	18	31	18	30	18	31	18

	1 1 月		1 2 月		1 月		2 月		3 月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	4	1	5
退 所	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	6	—	6
在籍者数	31	18	29	18	29	19	29	19	30	19			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1, 473日	3日	24日	27日
5月	1, 509日	9日	32日	41日
6月	1, 396日	4日	100日	104日
7月	1, 464日	2日	84日	86日
8月	1, 455日	— 日	79日	79日
9月	1, 387日	— 日	62日	62日
10月	1, 484日	7日	26日	33日
11月	1, 440日	4日	26日	30日
12月	1, 411日	1日	74日	75日
1月	1, 452日	— 日	31日	31日
2月	1, 304日	8日	32日	40日
3月	1, 432日	9日	76日	85日
合計	17, 207日	47日	646日	693日

前年度延べ日数 17, 343日

11. 金銭管理状況 (令和5年3月31日現在)

	男性	女性	計
全て自己管理	4	2	6
一部自己管理	2	7	9
全て施設管理	10	6	16
家族が管理	10	3	13
成年後見人	4	1	5
計	30	19	49

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	37日	4人	11月	41日	4人
5月	24日	4人	12月	40日	4人
6月	33日	4人	1月	37日	4人
7月	26日	5人	2月	41日	4人
8月	24日	5人	3月	37日	6人
9月	30日	4人			
10月	34日	4人	合 計	404日	52人

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町

前年度延べ日数 346日

2. 障害程度区分

令和5年3月31日現在

区分	男性	女性	合計
3	3	1	4
4	—	—	—
5	—	1	1
6	1	—	1
合 計	4	2	6

平均障害程度区分 3.8

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	14人	92日	11月	8人	63日
5月	12人	90日	12月	7人	56日
6月	11人	86日	1月	5人	47日
7月	10人	87日	2月	8人	71日
8月	12人	86日	3月	7人	51日
9月	10人	82日			
10月	9人	67日	合 計	88人	878日

※支給決定市町村：高知市・土佐市・須崎市・佐川町・黒潮町
越知町・津野町・中土佐町・仁淀川町
四万十町

前年度延べ日数 665日

2. 障害支援区分

令和5年3月31日現在

(障害児)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	—
2	—	—	—
3	1	2	3
合 計	1	2	3

平均障害程度区分 3.0

(障害者)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	—
2	—	—	—
3	3	1	4
4	2	1	3
5	3	—	3
6	3	2	5
合 計	11	4	15

平均障害程度区分 4.6

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
令和4年4月1日	お花見	屋内	1回	季節を感じてもらおうと共にご利用者・職員との親睦を深める。
令和4年5月20日 令和4年11月17日 令和5年3月21日	レストラン	屋内	3回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらおう。
令和4年7月15日	夏祭り	屋内	1回	ご利用者・職員とともにまつりの雰囲気を楽しみながら親睦を深める。
令和4年12月9日	クリスマス・年忘れ会	屋内	1回	ご利用者・職員ともに1年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
令和5年1月20日	新年会	屋内	1回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供するとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。ただし、高知県の新型コロナウイルス感染症対策目安の警戒以上になった場合は中止していた。なお、外出時には、アルコール消毒やマスク着用をし、感染予防を徹底した。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、日曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。また移動スーパー（とくし丸）も利用し買物支援を行った。

(園内喫茶)

毎週木曜日に行っていた「由菜の里」の出張喫茶が5月に開店となった。出張喫茶に代わるものとして「お菓子の日」として、月2回程度オイコニアの職員対応でケーキと飲み物の販売を行った。

(整容)

月1回外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

2. 行事について

実施日	行き先等	人数	実施日	行き先等	人数
4月	ドライブ（町内） 外食（町内）	13人 11人	10月	ショッピング（高知市） ショッピング（高知市）	4人 4人
5月	ショッピング（高知市） スポーツ大会（高知市）	4人 6人	11月	ショッピング（高知市） ショッピング（高知市） 外食（町内） 外食（町内）	4人 4人 9人 9人
6月	ドライブ（四万十市） ショッピング（高知市）	9人 6人	12月	外食（町内）	8人
7月	ショッピング（須崎市） ショッピング（須崎市）	7人 6人	1月	初詣 外食（町内）	8人 5人
8月	外食（町内） 外食（町内） 外食（町内）	6人 6人 7人	2月	豆まき 外食（町内） 外食（町内） 外食（中土佐町）	— 8人 6人 5人
9月	外食（町内）	11人	3月	ドライブ（中土佐町） ドライブ（町内） ドライブ（中土佐町） 魚釣り（中土佐町）	6人 6人 5人 6人

外食については、新型コロナウイルス感染対策に応じて、テイクアウトとして実施した。

<外出について>

令和5年3月31日現在

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	4	3	7
自己決定で付き添って外出している	23	11	34
外出について意思表示が困難	3	5	8
計	30	19	49

※自己決定の困難な（意思表示の困難）ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
5月26日	入所者：40名 通所者：2名 短期：2名 職員：12名 計56名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行う。
6月24日	入所者：41名 通所者：1名 短期：2名 職員：16名 計59名	夜間に地震が発生し、厨房より火災発生が発生したと想定し、通報・消火・避難を行う。
9月29日	入所者：41名 通所者：2名 短期：3名 職員：12名 計58名	昼間に地震が発生し、厨房より火災発生が発生したと想定し、通報・消火・避難を行う。
1月31日	入所者：49名 通所者：4名 短期：2名 職員：12名 計56名	夜間の地震を想定し、避難を行う。
3月22日	入所者：36名 通所者：2名 短期：1名 職員：13名 計40名	夜間に地震が発生し、せせらぎ汚物処理室より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難を行う

4 各委員会活動

委員会名	開催日	内 容
権利擁護虐待防止委員会	4月12日 9月12日 12月8日 2月9日	身体拘束の事案や研修内容の検討、チェックリストからの現状分析、及び虐待防止に向けた啓発活動の実施
感染対策委員会	8月10日 12月8日 2月9日	感染対策の周知方法等についての検討、及び研修内容等についての確認
危機管理・防災対策委員会	1月20日 3月14日	事業継続計画（BCP）についての周知

食生活支援の状況

3食カフェテリア方式での選択食の提供を実施した。新型コロナウイルス感染症対策により、様々な行事の縮小や中止等制限ある生活も丸三年続いている。食堂内の感染症対策（パーティション・消毒）も継続している。そんな中、今年度も‘楽しみ’や‘生活の潤い’が持てるよう多職種と連携をはかり、代替えとなる食事イベントやテイクアウト行事を企画し、ご利用者に喜んでいただける食事支援を行った。

給食食材管理においては、ほぼすべての食材が間断的に高騰していき、年度中盤からは献立の内容を大きく見直すことが必要となった。また、週ごとの発注量を微調整し月間給食食材管理を綿密に実施しおおむね予算内で納めることができた。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年1回）、残渣調査（計量）の結果、また日常のご利用者とのコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

委託業者に対しては引き続き、食品の取り扱いや職員の体調管理、感染予防について徹底するよう依頼している。

5. 行事食

・レストラン（3回実施）

毎回、レストラン担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立を5種類準備し、好きなものを注文してもらっている。装飾・衣装など趣向を凝らし好評を得た。

【今年度のテーマ】 5月 ピクニック

11月 秋の味覚を味わいながら季節を感じていただく

3月 春の遠足気分を味わおう

・イベント食

タコ焼きパーティー・パンバイキング・モスバーガー

ほっかほっか亭弁当

・今年度の主な行事食

4月 開設記念祝い御膳 お花見弁当

7月 夏まつり

12月 クリスマス年忘れ会（個人膳・寿司・焼肉・クリスマスケーキなど）

1月 おせち料理・新年会（個人膳・にぎり寿司など）

*その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

ご利用者一人ひとりの性格や疾患の特性、ご利用者とご家族の要望を把握したうえで、身体機能や精神機能、認知機能、日常生活状況などの評価を行い、評価に基づきニーズを導き出した。リハビリ内容は身体機能面のみに目を向けるのではなく、各個人にとって価値のある活動を展開し、各疾患の特性に応じた幅広い活動を提供した。車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。また、精神障害・発達障害を伴うご利用者の疾患特性に合わせた、アプローチや環境設定を実施した。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者ひとりひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

集団生活を送る上で他ご利用者とトラブルとなることが多いご利用者に対して、トラブルを予防し集団という社会の中でその人らしく暮らしていくことを目的に、視覚的に指示が分かりやすいような環境設定をしたり、行動のルーティーンを置き換えるための方法を検討する等のアプローチを行った。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。集団作業療法では、難易度や活動内容を工夫しながら、幅広い年齢、疾患に対応できるような活動を実施した。

4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成

車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。

5. リハビリ実施状況

今年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者48名、通所者4名、短期入所者3名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能な方は週1～4回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計1～27名、平均9.67名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下や持病悪化が増える中、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、病状変化の早期発見と治療、また予防へと他職種と連携をしながら取り組みを行ったが、今年度は4名のご利用者が死亡された。病院受診は、定期的な受診を含め前年度より46回増えており中でも精神科受診が多くなっている。しかし入院日数は減っている。引き続き体調変化の早期発見に努め、施設で健康に過ごしてもらえよう支援を行う。

新型コロナウイルス感染症が続く中、感染対策や外出制限等、感染状況に合わせて行った結果感染者を出すことなく過ごすことができた。今後は5類に移行されるが、引き続き感染状況に注意し希望者にはワクチン接種を行っていく事とし感染対策に努める。

1. 取り組み

実施月	内 容
4月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
6～9月	食中毒の予防
8月	職員・ご利用者希望者新型コロナワクチン（4回目）（嘱託医により実施）
10月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
11月	職員季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12月	職員・ご利用者希望者新型コロナワクチン（5回目）（嘱託医により実施）
11月	職員健康診断の実施（検尿・採血）
11～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	コロナウイルス感染症予防 歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回/月の指導 嘱託医師にて1回/週（火）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	40人	66回	婦 人 科	2人	2回
内 科	10人	15回	脳 神 経 外 科	4人	6回
泌 尿 器 科	5人	15回	神 経 内 科	3人	9回
整 形 外 科	5人	22回	精 神 科	9人	52回
皮 膚 科	4人	5回	眼 科	4人	8回
血 液 内 科	1人	2回	麻 酔 科	1人	26回
耳 鼻 科	2人	6回	胃 瘻 交 換	4人	4回
乳 腺 外 来 科	1人	1回	合 計	95人	239回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
泌 尿 器 科	3人	3人	36日
内 科	7人	11人	450日
外 科	1人	1人	74日
脳 神 経 内 科	2人	2人	14日
脳 神 経 外 科	2人	2人	37日
精 神 科	1人	1人	35日
合 計	14人	18人	646日

4. 特別な医療行為者数

令和5年3月31日現在

区 分	人 数	
気 管 切 開 の 処 置	1人	
経 管 栄 養	経 鼻	2人
	胃 ろ う	4人
バルンカテーテル	9人	
合計（重複者あり）	16人	

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、相談支援事業所や就労支援事業所等の各関係機関と連携を図り、ご利用者の希望に沿ったサービス提供に努めるとともに、体調を大きく崩すことがないよう表情や行動等を常に観察し、個々の状態把握に努めた。また、ご利用者のニーズに応じた支援ができるよう6ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行い、支援方法にズレが生じないように心がけた。

年度当初に1名の退所者があり、定員割れの状態となるが、相談支援事業所わらわが特定相談で関わりを持ちグループホームへの入所希望されていたご利用者に情報発信をしてもらう。ご家族は入所に対し、金銭的な理由により難色を示しすぐに入所には至らなかったが、町役場等の関係機関の協力も得て、入所の方向で同意をされ、体験利用を経て8月1日付で入所となり、男性4名、女性5名の満床となる。

ご利用者については、糖尿病のコントロールをするための入院はあったものの精神面からくる体調不良については個々の状態に応じた支援を行ったことで精神科への長期入院者はなく安定した生活を提供することができた。

環境整備として、開設時より緊急時の対応は緊急用の携帯電話を準備し、事務所受付カウンター横の見やすい場所に連絡先を掲示し対応していたが、3月7日に緊急通報装置を事務所出入口横に設置したことで、より緊急時の連絡がスムーズにできるようになった。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としては、職員は勤務前の検温やマスクの着用、施設内の換気、消毒といった対策、ご利用者には共用スペースでのマスクの着用や黙食、外泊の中止等を依頼し、感染対策を実施した。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容等

	行事名
4月	ドライブ（十和方面）、誕生日会、避難訓練（昼間火災想定）
5月	誕生日会、クッキング（どら焼き）、避難訓練（昼間地震想定）
6月	避難訓練（夜間風水害想定）
7月	ショッピング（蔦屋）、避難訓練（夜間火災想定）
8月	クッキング（おにぎり・焼き肉等）、避難訓練（夜間地震想定）
9月	避難訓練（昼間風水害想定）
10月	ピクニック（佐賀方面）、誕生日会、避難訓練（昼間火災想定）

11月	誕生日会、避難訓練（昼間地震想定）
12月	ショッピング（イオン高知）、クリスマス会、避難訓練（夜間風水想定害）
1月	初詣、誕生日会、クッキング（焼きそば・おにぎり等）、避難訓練（夜間火災想定）
2月	誕生日会、避難訓練（昼間風水害想定）
3月	誕生日会、クッキング（ケーキ）、避難訓練（夜間地震想定）

3 市町村別入所者数（令和5年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	3	3	6
中 土 佐 町	1	1	2
仁 淀 川 町	-	1	1
合 計	4	5	9

4 年齢別入所者数（令和5年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	-	4	4
30歳～39歳	-	-	-
40歳～49歳	-	-	-
50歳～59歳	2	-	2
60歳～64歳	1	1	2
65歳以上	1	-	1
合 計	4	5	9

	男性	女性
最 小 年 齢	52歳5ヶ月	21歳0ヶ月
最 高 年 齢	65歳1ヶ月	64歳4ヶ月
平 均	59歳8ヶ月	32歳1ヶ月
男 女 平 均	44歳4ヶ月	

5 障害支援区分別利用実績集計表（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当 (体験含む)	60	55	66	62	80	90	93	90	74	88	83	93	934
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分2	86	54	58	60	58	57	59	58	57	57	54	58	716
区分3	87	80	76	87	81	83	87	83	83	81	79	89	996
区分4～6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
延人数	263	220	230	240	250	260	270	261	245	257	244	271	3,011

6 入院状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
内 科	1	1	7
合 計	1	1	7

7 外泊状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	実人員	延人数	延べ日数
4月	2	4	5
5月	4	11	28
6月	2	9	9
7月	3	8	8
8月	5	7	29
9月	3	6	10
10月	3	8	9
11月	3	9	9
12月	5	11	34
1月	5	11	22
2月	4	8	8
3月	2	5	8
合 計	41	97	179

8 各委員会活動

委員会名	開催日	内 容
権利擁護虐待防止委員会	4月12日 9月12日 12月8日 2月9日	身体拘束の事案や研修内容の検討、チェックリストからの現状分析、及び虐待防止に向けた啓発活動の実施
感染対策委員会	5月31日 10月28日	感染対策の周知方法等についての検討、及び研修内容等についての確認
危機管理・防災対策委員会	7月19日 1月26日	事業継続計画（BCP）についての周知

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も各支給決定機関や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画相談支援や地域生活支援事業における相談支援などに取り組んだ。

令和5年3月末現在、計画相談で受けている方は114名（児童6名を含む）で、四万十町から委託されている地域生活支援事業は8名である。2名の相談支援専門員で役割分担をして支援を行ってきたが、令和4年11月23日から1名の相談支援専門員が産休に入ったことに伴い、1名の相談支援専門員が全ご利用者に対して関わりをもつようになった。1名となったことすぐの対応が難しい場合は、支給決定機関や障害福祉サービス事業所にも協力していただきながら、本人の困りごとなどに対して支援を行った。また、自立支援協議会やケース共有会、高幡相談支援連絡会へも参加し、課題の検討や情報の共有を行うことができた。

災害時避難行動要支援対策として四万十町からの依頼により、災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成と更新を行った。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導
- ⑤ 災害時避難行動要支援対策
 - ・ 災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成
 - ・ 訪問等の機会を利用して、定期的な状況確認及び個別計画の更新
 - ・ ご利用者が参加する避難訓練及び調査等への支援活動に参加
 - ・ 避難情報等災害に関する情報の伝達等の支援
 - ・ 避難時における必要な支援

2 相談受理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指定一般相談	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定特定相談	27	21	21	23	20	27	18	37	15	20	23	19	271
障害児相談	2	1	2	1	1	3	3	1	-	-	-	4	18
四万十町相談	3	2	3	3	2	4	2	3	3	2	3	3	33

3 計画相談サービス利用状況

福祉サービス等	件数	合計件数
施設入所支援	58	221
生活介護	62	
短期入所支援	8	
療養介護	1	
共同生活援助	9	
居宅介護（家事援助）	2	
生活支援（地域活動支援センターとの連携）	8	
生活支援住宅	2	
意思疎通支援事業	2	
日常生活支援事業	6	
就労支援（就業・生活支援センターとの連携）	2	
就労定着支援	1	
就労継続支援A型	2	
就労継続支援B型	41	
その他（受診時同行支援・訪問看護等）	11	
保育所等訪問支援事業	4	
児童発達支援事業	2	

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

今年度は、新型コロナウイルスに翻弄された一年となった。4月～6月までは安定した延人数を確保できていたが、7月に入り全国的に新型コロナ感染拡大と共に感染予防での利用を見合わせ方や施設入所・死亡等で利用延べ人数が減少し、8月には職員・ご利用者共に新型コロナウイルス感染にて、営業を6日間中止することになった。その後も利用枠が空いても新規ご利用者の問い合わせやおためし利用されるご利用者の方もなく、空き枠が22枠も空いた状態の月もあった。年間延べ人数も昨年に比べると705名減少し、収益も減収。とても厳しい経営となった一年であった。

新規ご利用者を確保するため、パンフレットの作成し各事業者に配布を行い、2月からではあるが少しずつおためし利用の方が増えてきている。

12月に高知県介護福祉機器等導入支援事業費補助金を活用して、一般浴槽に昇降用リフトの設置を行い、「浴槽の階段に不安がある」「湯舟で身体が浮くのではないか」との不安の声に対応できる支援が行えるようになった。また、職員の腰痛予防改善にも役立っている。

今後もご利用者の要望と職員の職場環境改善に向け取り組みを行うと共に、居宅サービス計画に沿って、居宅介護支援事業所とも連携を図り、通所介護計画書を作成し、ご利用者ご家族に説明し同意が得られた計画書に基づき個別対応の提供に努める。

新型コロナウイルス感染症予防対策にあたっては継続して実施。施設内の換気と消毒・公用車の消毒・手洗いうがいの徹底を継続して行っている。

<総合事業通所介護事業>

支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めている。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、ゴムを使った体操や午後にも柔軟体操を取り入れ下肢筋力の低下予防に努めた。個々に園庭での歩行訓練も積極的に取り組んで行ってきた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行っている。

自宅での転倒にて、骨折・入院される方もいた。全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱい状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行事名
4月2日	お花見弁当
5月9日～14日	母の日プレゼント週間
6月20日～25日	父の日プレゼント週間
9月19日～24日	敬老週間
12月24日	クリスマス会
12月26日	餅つき
12月28日～29日	忘年会
1月4日	新年会
2月3日	節分(豆まき)
2月25日	避難訓練(昼間地震火災想定：自主訓練)
3月24日	避難訓練(昼間地震火災想定：消防立ち合い)

(2) 機能訓練とレクリエーション

今年度も、月間予定表を作成し、午前中のレクリエーションは、レク内容の偏りがないように参加ご利用者の方が楽しめる提供を行った。壁画週間も継続して季節に沿った壁画をご利用者の意見をくみ取り実施した。運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。園庭の散歩など季節の風景を見ながら気分転換を図る目的で歩行訓練をされるご利用者の方も見られた。百歳体操やゴムを使った体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図る支援に努めている。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。縫い物、壁画作り、折り紙、カレンダー作成など幅広く活動が行っている。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めている。

3 年齢別登録者数集計表

令和5年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	1	1
7 0 歳 ～ 7 4 歳	1	2	3
7 5 歳 ～ 7 9 歳	2	1	3
8 0 歳 ～ 8 4 歳	8	3	11
8 5 歳 ～ 8 9 歳	3	11	14
9 0 歳 ～ 9 4 歳	9	28	37
9 5 歳 ～ 9 9 歳	2	10	12
1 0 0 歳 以 上	—	2	2
合 計	25	58	83

※ 最高齢は105歳の女性（要介護5）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和5年3月31日現在）	88歳	91歳	90歳
最 高 齢（令和5年3月31日現在）	97歳	105歳	

4 要介護別利用実績集計表（令和4年4月～令和5年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	26	26	26	21	26	26	26	27	24	24	27	305
1 日 平 均 利 用 者 数	33.00	32.58	33.08	31.00	28.14	29.08	27.81	28.65	26.26	23.08	26.42	27.37	28.87
事 業 対 象	49	49	41	36	22	26	19	28	26	25	27	31	379
要 支 援 1	48	49	39	36	29	44	40	35	31	29	34	40	454
要 支 援 2	66	63	68	73	42	58	73	78	71	40	42	72	746
要 介 護 1	216	239	248	229	169	206	201	204	194	166	221	208	2,501
要 介 護 2	261	247	263	251	194	254	237	245	214	183	168	229	2,746
要 介 護 3	117	116	117	108	82	99	69	67	93	48	63	60	1,039
要 介 護 4	74	58	56	47	20	20	32	33	51	39	40	43	513
要 介 護 5	27	26	28	26	33	49	52	55	29	24	39	56	444
延べ利用者数	858	847	860	806	591	756	723	745	709	554	634	739	8,822

（令和4年度 延べ利用者数 9,527名）

5 各委員会活動

委員会	開催日	内容
権利擁護虐待防止委員会	5月23日	ご利用者の「人が人として尊厳をもって生きていくこと」を支援する為に、差別や虐待防止に向け意識を高めることを目的とする
感染対策委員会	6月6日	新型コロナ感染症対策・インフルエンザ・ノロウイルス等食中毒への対応などについて理解と実践対応を行うことを目的とする
危機管理防止委員会	11月21日	地震・風水害・土砂災害への知識を学び、施設における危機管理防止対策の検討・見直し・実践研修の計画作成を目的とする。

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

令和4年度から、定員人数を月～土曜日まで15名定員に変更をしてご利用者の受け入れを行ってきた。ご利用者の状況については、延べ利用人数が、昨年より329名増加し、収入は増収となった。また、要介護度の高い利用者の割合が増え、利用日数を増やす方も多かったことが増収につながっている。

新型コロナウイルス感染予防の徹底を図り、送迎時の検温や施設内の換気・消毒に心がけきたが、施設内において感染拡大が見られ、1月に4日間、営業を中止することとなった。営業を再開しても感染予防の為1か月お休みをされるご利用者の方が多かったことで延べ人数が減少した。2月からは延べ人数も安定している。

隣接する保育所とは、距離をとっての交流を続けることができている。クッキングについても、感染対策を行った上で、月に1回以上、おやつや昼食をご利用者と一緒に作る機会を持った。

また、合同避難訓練も例年通り実施し、訓練を重ねることで危機意識も高まっている。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成し、サービスの提供を行った。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4月	お花見弁当(1回)
5月	母の日週間、保育園こいのぼり運動会見学
6月	父の日週間、クッキング(カフェ) 1回
7月	クッキング(昼食) 1回
9月	クッキング(おやつ) 1回、秋祭り
10月	クッキング(昼食) 1回 保育園秋の運動会
11月	運営推進会議、保育園合同避難訓練、クッキング(おやつ) 1回
12月	クッキング(おやつ) 1回、忘年会2回、もちつき
1月	新年会
2月	豆まき
3月	クッキング(おやつ) 1回、運営推進会議、自主避難訓練

(その他)

- * 誕生日に写真つきカードをプレゼント
- * 母の日、父の日に記念品のプレゼント
- * 敬老の日に、写真付きリースをプレゼント

(2) レクリエーション

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前はスポーツレクを中心に、午後には脳トレプリントや塗り絵、壁画制作、手先を使う作業など、個人個人に合わせて提供した。夕方には頭の体操を実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) 保育所との交流

運動会見学（5月21日 10月25日）

交流会（10月31日）

合同避難訓練（11月15日）

交流会（11月22日）

餅つき（12月27日）

(4) 小学校との交流

新型コロナウイルス感染予防の為中止

(5) 地域との連携

興津地区自主防災組織総会（7月7日）

3 年齢別登録者数集計表

令和5年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	—	—
7 0 歳 ～ 7 4 歳	—	—	—
7 5 歳 ～ 7 9 歳	—	4	4
8 0 歳 ～ 8 4 歳	—	2	2
8 5 歳 ～ 8 9 歳	5	3	1 3
9 0 歳 ～ 9 4 歳	—	9	9
9 5 歳 ～ 9 9 歳	—	2	2
1 0 0 歳 以 上	—	—	—
合 計	5	2 0	2 5

※ 最高齢は95歳の女性（要介護1．要介護2）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和5年3月31日現在）	86.8歳	86.6歳	86.7歳

4 要介護別利用実績集計表（令和4年4月～令和5年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	26	25	26	26	27	26	25	26	26	20	24	27	304
1日平均利用者数	12.2	11.3	10.2	10.5	10.5	10.9	11.7	10.9	11.3	9	11.1	10.4	10.9
事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
要支援1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	4
要支援2	8	9	8	9	9	3	12	14	9	7	20	25	133
要介護度1	109	110	84	82	69	86	69	65	68	34	60	76	912
要介護度2	119	101	111	123	118	115	131	127	139	96	112	103	1,395
要介護度3	39	25	27	28	51	46	46	42	45	40	63	63	515
要介護度4	25	25	25	22	25	24	25	25	20	-	-	-	216
要介護度5	18	13	12	11	13	11	11	12	13	1	12	13	140
延べ利用者数	318	283	267	275	285	285	294	285	294	180	267	282	3,315

（令和4年度 延べ利用者数 2,986名）

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

今年度は要支援・総合事業対象者の受け持ち人数を地域包括支援センターと調整を行った結果、前年度と比較すると要介護者の割合が増え増収となった。施設入所や死亡などにより計画数の減少もあったが、新規の問い合わせも定期的にあり安定した計画数を維持できた。

新型コロナウイルス感染症に関しては、ご利用者自身の感染や、サービス事業所の営業休止などにより、十分なケアが受けられず心身のレベルが低下したご利用者が数名見られた。県外在住のご家族が帰省した際の対応については、各事業所で徐々に緩和されてきている。

担当しているご利用者の中には、介護サービスにつながらないケースもあるが、各関係機関と情報共有しつつ、地道に地域へ出向き、安否確認などを含め生活状況の把握や、地域住民の方とのつながりを強めてきた。また、認知症の独居高齢者、老々介護、緩和ケアや終末期ケアなど、様々な事例に対して、ご本人やご家族の望む暮らしを汲み取り、専門性を生かした計画が作成できるよう努めた。

1 事業内容

- (1) ケアプランの作成
- (2) 要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- (3) 予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	6
要支援1	2	3	3	3	4	3	4	4	3	3	2	2	36
要支援2	9	8	8	8	8	8	6	6	7	7	7	7	89
要介護1	28	26	27	27	26	26	27	26	27	25	26	25	316
要介護2	24	26	27	27	26	25	26	28	24	25	22	21	301
要介護3	5	5	5	5	4	4	6	6	6	6	7	8	67
要介護4	5	6	5	5	5	6	5	5	7	4	4	4	61
要介護5	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	46
合計件数	76	77	78	78	76	76	79	80	79	76	74	73	922
新規利用	2	3	3	0	2	1	4	4	3	2	3	2	29

* 新規利用者には要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む

[地域における公益的な取組]

6月10日、明成会地域サポート隊推進会議を行い、今年度の事業計画に基づき次の地域における公益的な取組みを実施してきた。また、年度末の3月16日には、活動報告を行うとともに次年度の活動計画について検討を行った。

1 (地域に向けた活動)

○明成会地域サポート隊による活動の実施

・清掃活動

実施日	参加人数	内 容
7月24日	12	六反地駅・施設周辺の草刈り
10月23日	6名	六反地駅・施設周辺の草刈り

※観光列車おもてなし”として菜の花活動（草刈り）

・月1回各宅老所へ出前講座の実施（コロナ禍にあり休止する宅老所あり）

六反地宅老所 10回

替坂本宅老所 4回

影野宅老所 4回

2 (地域その他機関とのネットワーク活動)

・高知県立大学・高知リハビリテーション専門職大学の実習の受入れと交流を通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施

3 (福祉避難所の活用)

・災害時に備えた地域の防災意識の向上及びコミュニティづくりの一つとして、地震体験会（10月2日）を実施

4 (既存事業の利用料の減額・免除)

・介護保険事業（デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝）における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施

《 職 員 研 修 》

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

1 法人研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
新任職員研修	5月2～5日	新任職員 (4名)	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能を習得する。
人事評価者研修	5月18日 11月4日	第1次評価者 (14名)	人事評価制度運用の実務について評価者の定期的な学習
人権学習会	7月25日～1週間	全職員	認知症の方を特集した番組を通して支援者としての役割について学習(視聴)
ハラスメント研修	9月19日～1週間	全職員	ハラスメントについて正しく理解し、職場におけるハラスメントを未然に防ぐための具体的な方法を学習(視聴)
地震体験会	10月2日	全職員 地域住民	南海トラフ地震対策推進出前講座及び起震車による地震体験を実施
法人研究発表会	2月27日	全職員	各事業所の取組み内容についてお互いに発表し合うことで内発的なモチベーションアップにつなげることができた。
リフレッシュ研修	3月15日	全職員	講師を招き、絵手紙教室を開き、職員のリフレッシュを図った。

2 事業所研修

【 オイコニア 】

研修内容	開催日	内 容
夜間緊急対応と AED 使用方法	5月19日	AED の使用方法について理解すると共に、夜間の緊急対応の実践を行い、緊急時の対応と連携の強化を図る
BCP 訓練（感染）	6月16日	事業継続計画（BCP）に基づき、実践的訓練を行う
介護技術研修	7月21日	食事や水分補給介助を受ける体験を通して、ご利用者の気持ちの理解を深め、安心・安全の介助方法を身につける
精神障害とその対応 ～事例を通して～	8月18日	精神障害について、心理を理解して知識を活かし確かな技術で援助する支援を学ぶ
リスクマネジメント	9月15日	福祉施設におけるリスクマネジメントについて知識を身につけ、事故を回避するための視点を養い事故防止につなげると共に、日頃の記録の大切さや事故発生時の対応方法を学ぶ
感染症	12月1日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、集団感染防止に向けた意識付けを図る
リフレッシュ	1月19日	ゲームを4種類行い楽しむことで、日頃の業務から離れ、職員の心のリフレッシュを図る
虐待防止	3月16日	グループワークを通して障害者の人権や虐待について理解を深める

【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

研修内容	開催日	内 容
経営理念について	5月25日	明成会の理念等について理解と浸透を図る
リスクマネジメント	7月21日	リスクマネジメントについて知識を身に付け、事故を回避するための支援を養い事故防止につなげる
虐待防止	9月22日	虐待について理解をし、虐待防止につなげる
感染症	11月17日	ノロウイルス感染症への対応、集団感染防止にむけた意識づけを図る
BCP 訓練	1月20日	事業計画に基づき実践訓練の実施
5 S 活動について	2月23日	虐待について理解をし、虐待予防につなげる
プライバシー保護	3月23日	プライバシーの保護について理解を深め、ご利用者の権利擁護につなげる

【デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん】

研修内容	開催日	内 容
事業計画について	4月13日	本年度事業計画の確認を行い、周知する。
人権権利擁護 虐待防止研修	5月25日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護 個人情報保護について理解をする
感染症研修	6月23日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、まん延防止策、新型コロナウイルス感染症対策について理解を深める。
ヒヤリ・ハット事故 事例検討	7月18日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
各種の制度研修	8月13日	介護保険制度について理解する (新型コロナウイルス感染中止)
災害時研修	9月20日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練）
認知症ケア研修	10月19日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
食事支援研修	11月24日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
福祉避難所開設訓練	12月11日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（机上訓練）
介護技術研修	1月28日	腰痛予防に努め、ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ
ヒヤリ・ハット事故 事例検討	2月22日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
マニュアル研修	3月23日	マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。

【デイサービスセンターさくら貝】

研修内容	開催日	内 容
事業計画について	4月14日	本年度事業計画の確認を行い、周知する。
人権権利擁護・虐待防止	5月19日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護 個人情報保護について理解をする
感染症研修	6月23日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症や食中毒への対応、まん延防止策、新型コロナウイルス感染症対策について理解を深める。
ヒヤリハット・事故対応	7月15日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
介護予防について	9月21日	介護予防の重要性について学習する。
認知症ケアについて	10月19日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
食事形態と個々の嗜好	11月28日	高齢者の食事の理解と個々の食事形態の対応について周知する。
介護技術研修	1月28日	介護技術の基本動作について、実践研修を行う。
マニュアル見直し	3月20日	マニュアルの見直しを行い最新の内容に変更する。
事故予防研修	毎月実施	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。

広報活動

明成会で行っている事業を積極的に広報することにより、広く地域の方々に明成会を知っていただくことを基本的な目的としている。引き続き各事業所の広報誌、ホームページについては全面的な見直しを行うとともに定期的な更新を行い、明成会の事業や活動内容を分かりやすく、見やすい情報発信に取り組んだ。

[公益事業]

【配食サービス事業】

前年度同様に四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕2食の配食を行ってきた。

高齢者の調理・買い物に対するニーズの変化等により配食サービスの希望者が多く、今年度の新規利用契約者数は61名、1日平均食数は120食を超え安定してきた。10月以降は新規ご利用者の受入れを制限しつつ利用調整を行いながら、配達コースも随時見直してきた。8月以降は、コロナウイルスに感染したご利用者も見られるようになり、配達する場合には、折弁当で対応するなど感染予防対策も行ってきた。

今年に入り配達員2名の入替りがあり、12月に何とか配達員を確保することができたが、その間職員がローションに入り応急的に配達を行った。今後は、職員も配達をカバーできるようになったことで配達員も働きやすくなった。

配食サービス事業の目的にもある「ご利用者の安否確認」については、新規契約時に事前に話し合い、個別に不在時の連絡体制を定め、これまで以上に配達時の安否確認を徹底して行ってきた。

また、夏場には衛生面から弁当箱をこまめに回収することも心掛け、配食日誌による安否確認と弁当箱の回収確認を徹底してきた。配達数の増加にともない特に冬場の夕暮れ時の配達には、より慎重に取り組んでいる。

月別配食集計表

	実績数				実利用者数		
	公費	自費	小計	1日平均	公費	自費	小計
4月	3,393	211	3,604	120.1	106	10	116
5月	3,511	153	3,664	118.1	107	7	114
6月	3,421	166	3,587	119.5	112	8	120
7月	3,476	217	3,693	119.1	111	10	121
8月	3,452	217	3,669	118.4	108	11	119
9月	3,532	230	3,762	125.4	114	11	125
10月	3,655	210	3,865	124.7	115	11	126
11月	3,672	215	3,887	129.6	115	9	124
12月	3,813	191	4,004	129.2	115	9	124
1月	3,635	159	3,794	122.4	111	9	120
2月	3,301	149	3,450	123.2	110	6	116
3月	3,693	144	3,837	123.7	111	6	117
合計	42,554	2,262	44,816	—	1,335	107	1,442
平均	3,546	189	3,735	122.8	111	9	120
前年度平均	3,349	169	3,518	115.7	104	8	112

[収益事業]

【 宿 舎 運 営 事 業 】

今年度の平均利用率は、64.8%(昨年98.1%)と例年に比べると空室が多く目立っている。宿舎建設当初は、入職時に住宅を探す職員が多く、職員の負担軽減や福利厚生を充実させられる目的もあったが、現在では職員の入居希望者もほとんどないうえに、建物の老朽化が進行し、故障した設備の取り換えや補修等多額の費用が発生し始め様々な課題が出てきている。

理事会において議論を重ねた上で、職員の利用が激減している現状、当初の目的は達成していると、今後買い手がつけば売却、売却できない場合は令和6年度末で処分する予定でまとまった。

利用状況一覧表（令和4年4月～令和5年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職員	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
外部	6	6	6	6	5	4	4	4	4	3	3	4	55
空室	1	1	1	2	3	4	4	4	4	5	5	4	38